



↑ 全体



↑ 数取り器部分



↑ 青矢印部分が数取り器を押すと共に、シャフトをはじいて音を出す

## ◇指導のねらい

- ・ 視覚障害者にとって長い距離と実際の数値の関係を理解することは難しいことである。自分の足で歩いて得た距離感と測定器の計測値を同時に体感することで、ふだんの生活の中で経験する長い距離を理解する。
- ・ 1m、10m、100m、1kmなどの距離感を、感覚的に理解する。

## ◇基本の使い方

- ・ 測定器は、1周回ると1メートルであり、1mごとに音が鳴る。
- ・ 一般の距離測定器と同様に、測定器を押しながら歩く。
- ・ 測定器の音の数を数えて距離(何mか)を知る。
- ・ 途中で数がわからなくなっても、数取り器が自動的に回転数を記録しているのので、確認することができる。

## ◇指導の評価

- ・ 教科書のように巻尺や長いひもを使って距離を測ると、数値では理解できても感覚として距離を理解することは難しかったが、この測定器を押しながら歩くことで、数値と感覚を一致させることができた。
- ・ 長い距離を感覚として理解することができた。
- ・ 自ら測定することで、興味関心をもち、意欲的に取り組む態度がみられた。